

日本青年会議所石材部会

石材店ができる市場創造イベント
お寺を舞台に家族の絆深まる機会を
「伝えよう我が家のルーツ with 石あかり」



日本青年会議所石材部会（山口康二部会長）では去る8月28日（日）、栃木県佐野市の台元寺（井上純道住職）で、市場創造実践イベント「伝えよう我が家のルーツ with 石あかり」を実施した。同イベントには台元寺の檀家と共に、地元住民ら約50名（18組）の家族が参加し、親子の絆を再認識しながら、夏休み最後の日曜日に思い出深い経験を積み重ねた。

今年度の石材部会では、お墓の市場創造に繋がられるモデル事業の基礎づくりを目指している。今回の事業経験を活かして「今後さらに内容を精査し、全国各地の石材店で活用していただけるような形をつくり、その結果を広く業界に発信していきたい」としている。

◇

イベント終了後には、早速参加者から「良い企画だった、来年はいつ開催するんですか?」「家

に帰ってから両親と先祖の話をしてみようと思った」など、高い評価を得ていた同イベント内容について、事業担当者の石材部会・佐野雅基副部長（静岡県藤枝市／有）佐野石材、笹川敏男常任委員（栃木県佐野市／有）笹川石材店）に話を聞いた。

さい。

佐野雅基氏（以下、佐野） この事業の大きな目的は「石やお墓のある暮らしがいかに幸せであるか」「お墓参りすることを得られる心の充足感」といったものを広く一般の方々に実感して頂くこと。一言で言うならば「お墓の市場創造」です。

「市場創造」というと難しく聞こえるかもしれませんが、私たちが考える墓石業界の市場創造とは、既存の墓石業界の中

で勝者となって売上げを増やす、という考えではなく、墓石（お墓）の価値を高めることによって、他の市場よりも消費者の支出先のより多くを獲得すること。市場全体を広げていくイメージです。

今年度の石材部会では、お墓の市場創造に繋がられる具体的なモデル事業をつくり、それを業界の多くの石材店に活用していただくことで、業界の活性化を実現したい、という方向性を掲げています。その方針の下、

様々な事例を通して市場創造には「絆づくり」と「動機付け」が必要であることを学びました。

イベントやニュースレターなどで行う「絆づくり」によって自社の顧客（ファン）を増やし、「動機付け」によって売上げを創り出す。「売る」とは、「買う」という行動に駆り立てるための理由を与えることであり、その行動する理由が動機になる。停滞していると言われる業界でも、この「絆づくり」と「動機付け」が

会場となった名古屋伏野市の台元寺

様々な議論を重ねてきました。

その過程で、
本年3月に
様々な業界で
業績向上・市
場創造の実践
に携わってき
た大阪裕司氏
（オラクルひ
と・しくみ研
究所代表を
講師とする研
修会を開催し、

石材部会・佐野雅基副部会長と笹川敏男常任委員長

市場創造に結びつくことを学ぶことが出来ました。

では、お墓の市場創造のための「絆づくり」

「動機付け」とは一体何なのでしょう。うか？石材部会として導き出したのは、まず「お墓を売

方を感じてもらうことであり、それを感じられる場所が「お墓」であることとを実感してもらうこと。そういった認識が、お墓を購入するための動機付けになるのではないかと考えました。

また「絆づくり」としては、既存のお客様やお客様になり得る方々との人間関係を深めていくことが大きなポイントになつてきます。石材店においても、このお客様との繋がりが口コミによる

佐野 家族や先祖への感謝「絆」「つながり」の大切さを伝えていく上で、より効果的に伝えられる場として考えた時に、「お寺」のシチュエーションこそ最適ではないかと考えました。「お寺」といえば寺子屋をはじめ、もともとは地域コミュニティの核として位置づけられる場所です。もちろん、各石材店の

元のお寺様でイベントを行う」。これも今回目指したモデル事業の方向性です。

楽しく親子で
絆を再認識

——今回の事業では、18組の家族に石あかり製作、家系図と家訓づくりを行いました。このプログラムの意図は？

笹川敏男氏（以下、笹川）
やはり石材店が行う事業ですので、石に触れていただく機会を作りました。

が低くなる。

今回は香川県庵治産地の讃岐石材加工(協)石栄会さんが考えられた石あかり工作キットを参考にさせて頂きました。事前に細い棒状にした石を多数用意し、それを金づちで叩いて割っていく。その割れた石片を接着剤で順にくっつけてながら、形を作り、各家族がそれぞれオリジナルの石あかりを製作しました。

——参加者の反応は？

笹川 皆さん、楽しそう

る」ことにおける動機付けです。お墓を作ることの大きな目的の「供養」を念頭におき、家族・先祖への「感謝」「絆」「つながり」をのこすこと、役の

ながら、お墓の付けちて来るという考業と見



布澤に作りつけられた家系図と、お寺さまの繋がり。これらは、多岐にわたる活動の中心となっており、地域の繋がりを活かすことが大切になってくると思います。

多くの方々に動機を伝えていくことで、市場創造に繋がっているのではないかと、今回の実践事業を通じて思っています。

幸いにも今回の実践事業の担当者・笹川さんの所属する(社)佐野青年会議所メンバーに井上純道さん(ご住職)がいたというご縁もあり、石材部会的主旨をご住職にご理解いただいた上で、台元寺様で開催する運びとなりました。

今回のイベントでは、希薄化されつつある親子の絆を感じ、深めてもらうことが大前提となりますが、そのためには、あくまで楽しく参加しやすい環境が必要だと思います。

いきなり、家系図と家訓づくりしませんか？と言っても、なかなか興味を持ってもらいにくい。でも、そこに親子で会話をしながら、石あかりを親子で協力しながら作ってみませんか？と投げかけることによって、参加者の心の中、心と

紹介へと結びつくケースは少なくないと思えます。地元密着の石材	店頭や、地域活動の中で広めていくことも大事だと思いますが、昨今、檀家離れといった課題もある中、出入りのお寺様に	イベントのタイムスケジュール
		14:30 受付開始
		15:00 開会
		15:01 部会長挨拶
		15:05 ご住職よりあいさつ
		15:08 趣旨説明
		15:13 ～石あかり製作～ 石あかりPV放映
		15:15 石あかり製作開始 ※随時休憩を含む ～家訓プログラム～
		16:15 休憩(調整時間)
		17:55 完成した石あかりを飾る
		18:05 発表へ 石あかり点灯式 各賞 家訓発表 受賞者のインタビューx2組
		18:40 先祖への感謝を誘うPV
		18:45 まとめ
		18:50 閉会
		18:51 アンケート記入

